

Antidepressants for the treatment of adults with major depressive disorder in the maintenance phase: a systematic review and network meta-analysis

岸 太郎¹、生田 敏一²、佐久間 健二¹、奥谷 理¹、波多野 正和³、松田 勇紀⁴、岩田 仲生¹

1 藤田医科大学 医学部 精神神経科学

2 Department of Communication Sciences and Disorders, School of Applied Sciences, University of Mississippi, USA.

3 藤田医科大学 医学部 臨床薬剤科

4 東京慈恵会医科大学 医学部 精神医学講座

[Molecular Psychiatry 2023 Jan;28(1):402-409]

この度は2023年度学学会奨励賞を賜り、厚く御礼申し上げます。今回の受賞を励みに、今後も精神疾患の患者さんに対する薬物治療の最適化を目指した研究に益々邁進し、本学会の発展に貢献するよう精進する所存です。

本研究の抄録

維持期うつ病には、急性期治療で奏功した抗うつ薬を継続使用することが多いので、急性期うつ病と維持期うつ病の両者に対する各抗うつ薬の益と害のバランスを考慮した上で、急性期治療における抗うつ薬を選択すべきである。そこで、私達は世界初となる「維持期うつ病に対する抗うつ薬の有効性、受容性、忍容性、安全性に関するネットワークメタ解析」を実施した。この試験には、34本の無作為割付試験、9384人のうつ病患者が包括され、20種類の抗うつ薬 (agomelatine, amitriptyline, bupropion, citalopram, desvenlafaxine, duloxetine, escitalopram, fluoxetine, fluvoxamine, levomilnacipran, milnacipran, mirtazapine, nefazodone, paroxetine, reboxetine, sertraline, tianeptine, venlafaxine, vilazodone, and vortioxetine) とプラセボが評価された。Amitriptyline, citalopram, desvenlafaxine, duloxetine, fluoxetine, fluvoxamine, mirtazapine, nefazodone, paroxetine, reboxetine, sertraline, tianeptine, venlafaxine, vortioxetine は、6か月目の再発率がプラセボに低かった。Desvenlafaxine, paroxetine, sertraline, venlafaxine, vortioxetine は、全ての理由による治療中断率がプラセボより低かったが、sertraline は、有害事象による治療中断率がプラセボより高かった。Venlafaxine は、めまいの頻度がプラセボより低かったが、desvenlafaxine, sertraline, vortioxetine は、吐き気の頻度がプラセボより高かった。本研究により、維持期うつ病治療における各抗うつ薬の治療学的位置づけが明確になった。